

- 事業名 : 10 月例会(未来を紡ぐ事業) 運営(案)
『ミッション型キャンプ～仲間と協力し答えを導き出せ～』
- 委員会名 : 地域活性化委員会
- 委員長名 : 園部 裕司 ● : 担当副理事長 : 木龍 龍之介
- 文書作成者役職・氏名 : 委員長 園部 裕司 ● : 専務理事 : 湯浅 英仁
- 議案上程日 : 2026 年 07 月 20 日 ● : 確認日 : 2026 年 07 月 20 日

事業要項(企画)

1.実施に至る背景	人口減少や地域コミュニティの希薄化など、地域を取り巻く環境は今後さらに変化していくことが予想されます。将来、地域を担う子どもたちが、変化する環境の中でも自ら考え、主体的に行動していくためには、他者と意見を交わし、協力しながら課題に挑戦する力を育むことが重要です。しかし、子どもたちがその力を育む機会は十分とはいえません。そのため、自ら考え、仲間と協力しながら課題に挑戦する経験が必要です。 背景の根拠
2.目的	【対内】地域の未来を担う子どもたちの人材育成に、主体的に関わる意識を高めることを目的とします。 【対外】自らで考え仲間たちと協力しながら課題に挑戦する力を育むことを目的とします。
3.解決すべき課題	子どもたちが、自ら考えて判断し、仲間と意見を交わしながら、困難な課題に挑戦する機会が不足していることです。 解決すべき課題の根拠
4.KPI(目的に対して)	事業実施後アンケートによる検証を行います。 【対内】 事業後アンケートにおいて、今後も地域の未来を担う子どもたちの人材育成に主体的に関わりたいの回答が 100% 【対外】 事業後アンケートにおいて、自ら考え、仲間と協力しながら課題に挑戦することができたの回答が 90%以上
5.広報戦略	01 【対内】8・9 月例会の報告依頼事項にて告知 02 全体 LINE にて告知 03 電話・LINE にて告知 04 【対外】ポスター・チラシにて告知 ポスター・チラシ配布リスト
6.対象者及び参加員数	(対内) (一社)新発田青年会議所 正会員 47 名・準会員 3 名 (対外) 阿賀北地域に住まう小学生 4～6 年生 60 名 【参加費について】 今回の事業運営費では運営が困難だと判断し、ひとり 1,000 円の参加費をいただきます。 参加費 1,000 円の設定根拠
7.実施日	2026 年 10 月 24 日(土) 14 時 00 分～ 2026 年 10 月 25 日(日) 10 時 00 分 例会開始:12 時 50 分 事業開始 14 時 00 分～10 月 25 日(日)10 時 00 分 【日程選定理由】 LOM での対外事業が被らない日程としました。 ※例会出席の定義は、2 日間事業のため 1 日参加することで出席扱いとします。
8.実施場所	【例会・事業会場】 新発田市青少年宿泊施設 あかたにの家(屋外)【雨天時は屋内】 〒957-0464 新発田市上赤谷 2173 TEL:0254-28-2116 FAX:0254-28-2123 【例会・事業会場選定理由】 参加者 60 名、JC メンバーが 12 名、合計 72 名が宿泊でき、全天候型のため選定しました。
9.事業内容 (目的達成のための手法)	■具体的手法 阿賀北地域に住まう小学生(4～6 年生)を対象に、5 人を 1 グループとし、自分達で考え、チームで協力する力を養ってもらうためにキャンプ事業を行います。 そのため子ども達には携帯電話の持ち込み、使用を禁止とし、ミッションや説明書を駆使して事業を進めてもらい、JC メンバーには極力手を出さずに、見守りやアドバイスに徹してもらいます。

夜には廃校舎を利用してチームで協力しながらミッションに取り組んでももらいます。

【チーム分け】

阿賀北地域に住む小学 4～6 年生の参加者を募り、委員会でチーム編成を行います。
チームの振り分けは、男女別グループとし、学年がバラつくように編成します。

【内容】

- ① [テントのミッション](#)に取り組んでもらい、テントを立ててもらいます。(概要・選定理由)
- ② [食材のミッション](#)に取り組んでもらい、夕飯のカレーを作ってもらいます。(概要・選定理由)
※とんとん市場新発田店様より食材をご協賛頂きます。
- ③ キャンプファイヤーを行い、炎を眺めながら 1 日を振り返ってもらいます。(概要・選定理由)
- ④ 夜のミッションに取り組んでももらいます。(概要・選定理由)
- ⑤ 翌日の朝に最終ミッションに取り組んでももらいます。(概要・選定理由)
- ⑥ 振り返りタイムを設けて、2 日間を振り返ってもらいます。

【オープンチャットの利用について】

携帯電話の持ち込みを禁止するにあたって、保護者方にはリアルタイムで事業の様子を周知させていただきます。登録方法は参加決定の通知に QR コードを添付し、事業前日までにご登録をしていただきます。

緊急の際には担当者(委員長)へ連絡していただきます。

【緊急時の対応について】

[緊急時対応マニュアル](#)に準じて対応を進めさせていただきます。

【雨天時について】

- ・雨天時は体育館内にてテントを立てます。
- ※宿泊は施設内の宿泊室の利用になります。
- ・夕飯は調理室と炊事場の 2 つを利用し、カレーを作ってもらいます。
- ミッションを達成した班から順番にどちらかの調理場を選択し、1 班 10 人体制にて行います。
- 食べる場所は食堂とします。
- ※お米の炊飯は空き缶による炊飯ではなく、施設の炊飯器を使用します。
- ・キャンプファイヤーの代わりに雨の日のミッションを行います。(雨の日ミッション 概要)

■実施による工夫

- ① 携帯電話の持ち込み・使用を禁止し、目の前の活動や仲間との関わりに集中できる環境とします。
- ② 各チームの学年をバランスよく編成し、役割は子ども達自身が話し合って決めます。
- ③ テント設営や食事づくり、施設内探索を、仲間と協力しなければ解決できないミッション形式で実施します。
- ④ 空き缶炊飯など普段とは異なる方法を取り入れ、手順や役割をチームで考えながら取り組みます。
- ⑤ 夜の施設内ミッションと翌朝の最終ミッションをつなげ、2 日間を通して一つの目標達成を目指す構成とします。
- ⑥ 事業終了後に振り返りを行い、自分で考えたことや仲間と協力した場面を共有します。

■得られる効果

- ① 周囲の情報を自分で捉え、考え、判断して行動する力を育みます。
- ② 話し合いを通じて、自分にできる役割を考え、責任を持って行動する力を育みます。
- ③ 仲間と意見を出し合い、役割を分担しながら課題を解決する力を育みます。
- ④ 失敗した原因を仲間と考え直し、方法を変えて再挑戦する経験を得ることができます。
- ⑤ 夜に得た情報を翌朝につなげることで、情報共有や連携を促し、チームの一体感と達成感を高めます。
- ⑥ 2 日間の経験を振り返ることで、自ら考え、仲間と協力して行動したことを自覚できます。

■実施までのスケジュール

いつ	どこで	なにを
7 月	各所	現地にて下見・視察
8 月	各所	・メンバーの出欠確認

		・備品の確認 ・新発田市・各教育委員会への後援依頼 ・ポスター・チラシの発注
9 月	各所	・参加者募集 ・ポスター・チラシ配布 ・委員会メンバーリハーサル
10 月	各所	・リハーサル ・事前説明会 ・備品等の最終確認
事業前日	各所	・会場設営 ・最終リハーサル
事業当日		下記タイムスケジュールによる
事業後		・アンケート集計 ・事業検証

■当日タイムスケジュール(1 日目)

時間	所要時間	内容	備考
12:00	0:50	委員会メンバー集合	
12:30	0:20	JC メンバー集合	
12:50	0:10	例会開始	
13:00		例会中断・事業準備	
13:30	0:30	受付開始	
14:00	0:01	開会式・開会宣言	
14:01	0:02	理事長挨拶	理事長 菊地 将斗君
14:03	0:03	趣旨説明	委員長 園部 裕司君
14:06	0:14	アイスブレイク	
14:20	2:40	事業開始 テントのミッション、 テント組み立て、 食材のミッション	※ 事業の流れ
17:00	1:30	夕飯づくり キャンプファイヤー準備	
18:30	0:30	片付け	
19:00	0:40	キャンプファイヤー	
19:40	1:00	夜のミッション	
20:40	1:05	入浴 (入浴は 22 時までになります。)	空き時間に体育館で お菓子タイム
22:00		消灯	

■当日タイムスケジュール(2 日目)

時間	所要時間	内容	備考
6:30	0:15	起床	
6:45	0:40	朝食・歯磨き	
7:25	0:50	テント片付け 身支度など	2 日目の JC メンバーは 7 時 30 分集合とします。
8:15	0:40	最終ミッション	
8:55	0:20	振り返りタイム・アンケート記入	
9:15	0:01	閉会宣言・閉会式	
9:16	0:02	担当副理事長謝辞	木龍 龍之介君
9:18	0:10	例会再開	
9:28		後片付け	
11:00		完全撤収	

■雨天時タイムスケジュール(1 日目)

時間	所要時間	内容	備考
12:00	1:00	委員会メンバー集合	

12:30	0:20	JC メンバー集合	
12:50	0:10	例会開始	
13:00		例会中断・事業準備	
13:30	0:30	受付開始	
14:00	0:01	開会式・開会宣言	
14:01	0:02	理事長挨拶	理事長 菊地 将斗君
14:03	0:03	趣旨説明	委員長 園部 裕司君
14:06	0:14	アイスブレイク	
14:20	2:40	事業開始 テントのミッション、 テント組み立て、 食材のミッション	※事業の流れ (体育館内にてテントを立てま す。)
17:00	01:00	夕飯づくり	1 班 10 人体制とし、 炊事場と調理室に 3 チームず つ分かれて夕飯を作ってもら います。
18:00	0:30	片付け	
18:30	0:40	雨の日ミッション	
19:10	1:30	夜のミッション	
20:40	1:20	入浴 (入浴は 22 時までになります。)	空き時間に体育館内にて お菓子タイム
22:00		消灯	

■雨天時タイムスケジュール(2 日目)

時間	所要時間	内容	備考
6:30	0:15	起床	
6:45	0:40	朝食・歯磨き	
7:40	0:50	テント片付け 身支度など	2 日目の JC メンバーは 7 時 30 分集合とします。
8:30	0:40	最終ミッション	
9:10	0:20	振り返りタイム・アンケート記 入	
9:30	0:01	閉会宣言・閉会式	
9:31	0:02	担当副理事謝辞	木龍 龍之介君
9:33	0:10	例会再開	
9:43		後片付け	
11:00		完全撤収	

■当日役割分担表

役割	役職	氏名
総括責任者	副理事長	木龍 龍之介君
事業責任者	委員長	園部 裕司君
各所設営補助	副委員長	原 慎之介君
チームサポート	委員	入倉 美穂君
司会・タイムキーパ	委員	倉島 利季君
チームサポート	委員	小林 幸利君
ミッションサポート	委員	坂詰 直樹君
チームサポート	委員	新保 和樹君
見回り・各所補助	委員	趙 利賓君
ミッションサポート	委員	宮川 晃貴君
写真撮影		総務広報委員会

10.連携するパートナー
種別

・株式会社 菊地組 御中
・株式会社 せいだ 御中
・株式会社 細山建設 御中
・村山石材店 御中

	・新発田市教育委員会 様 ・聖籠町教育委員会 様 ・阿賀野市教育委員会 様
11.前回の上程より、 ブラッシュアップした点	各資料の追加及び、議案本文の修正、予算の修正を行いました。

12.	予算総額	¥410,000	事業計画収支予算書へ
13.	審議対象資料		14.参考資料
01)	ポスター		01) 前年度からの引継事項 (引用議案:2025 年度 9 月例会(自然から学ぶ事業))
02)	参加申し込みフォーム		02) 会場図
03)	教育委員会後援依頼文 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		03) 備品リスト
04)	教育委員会後援御礼文 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		04) 個人行動表(1 日目 、 2 日目)
05)	教育委員会共催・後援申請書 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		05) 緊急時対応マニュアル
06)	教育委員会後援事業実施報告書 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		06) ポスター・チラシ配布リスト
07)	新発田市観光振興課物品借入依頼文		07) 阿賀野市・新発田市・聖籠町小学生児童数
08)	新発田市観光振興課物品借入御礼文		08) 司会シナリオ
09)	禪(本部)		09) 事業の流れ
10)	事業看板		10) テントのミッション 概要・選定理由書
11)	対内アンケート		11) 食材のミッション 概要・選定理由書
12)	対外アンケート		12) キャンプファイヤー 概要・選定理由書
13)	受付表		13) 夜に行うミッション 概要
14)	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為の届出書		14) 2 日目朝に行う最終ミッション 概要
15)	小学校宛チラシ配布依頼文 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		15) ミッション一覧表
16)	小学校宛チラシ配布御礼文 (阿賀野市 、 新発田市 、 聖籠町)		16) 空き缶炊飯
17)	レンタル品 (テント 、 寝袋 、 ランタン)		17) 施設写真
18)	修了証(案)		18) キャンプ事業と脱出ミッションの位置付け
19)	購入品 (包丁 、 アルミ鍋 、 焚火シート 、 まな板 、 ポウル 、 ピーラー)		19) 解決すべき課題の根拠
20)	持ち物リスト		20) 参加費 1,000 円の設定根拠
21)	猿に出会ってしまったら		21) 背景の根拠
22)	引換券(A4 用紙)		22) テント説明書
23)	お菓子(お菓子タイム用)		23) 雨の日ミッション 概要
24)	協賛企業依頼文 (株式会社 菊地組 株式会社 せいだ 、 株式会社 細山建設 、 村山石材店)		
25)	協賛企業御礼文 (株式会社 菊地組 株式会社 せいだ 、 株式会社 細山建設 、 村山石材店)		
26)	パズル完成イメージ		

前回までの流れ

● 第 06 回執行部会

● 開催日 2026 年 06 月 15 日 (月曜日)

討議

意見 01: 参加人数 30 名は少ないのではないかと。

対応 01: 60 名に変更しました。

意見 02: 参加費は取った方が良いのでは。

対応 02: 1 人 1000 円の参加費をいただきます。

意見 03: 廃校を利用した施設を利用してもよいのではないかな。

対応 03: 当初紫雲寺記念公園オートキャンプ場を利用する予定でしたが、あかたにの家を利用します。

● 第 07 回執行部会

● 開催日 2026 年 07 月 14 日（火曜日） 協議

意見 01: 背景の「大きく変化していくことが予想される」の部分で何が変わるのかまで記載する必要がある。

対応 01: 背景に人口の減少や地域コミュニティの希薄化を追記しました。

意見 02: 目的「仲間たちと協力することで未来を切り開く力」と
背景「主体的に考え、挑戦する機会の創出」の繋がりが弱い。

対応 02: 背景、目的を修正しました。

意見 03: キャンプと廃校からの脱出ゲームは分けて考えたほうが良いのではないかな。今のままではどっちつかずになっている。

対応 03: キャンプ生活全体を一つの脱出ミッションとして進める、ミッション型キャンプ事業として、脱出ミッションは目的を達成するための「進行手法」となります。

意見 04: 振り返りを重視しているのであれば、振り返る内容についても子ども達に考えさせた方が良い。

対応 04: 自由に振り返る内容を設けます。

意見 05: キャンプファイヤー台 1 台だと 72 人で囲うのは難しいのではないかな。その場合櫓を組むなど検討したほうが良い。

対応 05: 櫓を組んで行います。

意見 06: 雨の場合料理台が 4 つしかない所以对策を考えたほうが良い。

対応 06: 雨天時はミッションをそのまま行い、カレーは調理場で JC メンバーでまとめて作ります。

意見 07: そもそも各ミッションなどの時間設定が足りるのか確認が必要では。

対応 07: 今現在各ミッションの問題の難易度も含めて、多めに時間をみています。

意見 08: アンケートの目標設定が 90% になっているが、去年の青少年事業が 100% 目標だったので去年より低くはしないほうが良いと思うので 100% にしたほうが良いのでは。

対応 08: 対外事業では 90% 以上にしました。

意見 09: 集客の点で言えばトレジャーハンターはネームバリューがあるので使うのも検討してみてもは。

対応 09: 今回はミッションキャンプという名前で進めさせていただきます。

意見 10: 事業場所は猿がいると思うので、野獣対策などもあった方が良い。

対応 10: 審議対象資料に猿に会ったら注意することの注意書きを加えました。

意見 11: 参加費 1,000 円を徴収するのであれば実施する意義を明確化し、民間や市のキャンプとの差別化があったほうが良い。

対応 11: 参考資料「参加費 1,000 円の設定根拠」を追記しました。

意見 12: 入浴時間が決まっているのであれば分かるように記載すること。

対応 12: タイムスケジュールに記載しました。

意見 13: 朝ごはんをどうするかの記事がないので記載すること。

対応 13: 購入して用意します。

意見 14: 350ml の缶は上蓋を切つてこない人や忘れてくる人がいるので、上蓋を切る道具を備品リストに入れ、缶の予備もある程度用意したほうが良い。

対応 14: 備品リストに追加しました。

意見 15: 包丁が備品に入っていないので、備品リストの修正をすること。

対応 15: 備品リストに追加しました。

意見 16: 6月例会時に救急箱を使用したけど中身が乏しいので確認。必要であれば本会計から購入になるのか確認すること。

対応 16: 必要の場合は本会計からの購入となります。

意見 17: 持ち物リストの QR コードをポスターなどに印刷していたので、持ち物が多いのでそういったものも作ったほうが良い。

対応 17: QR コードを作成し、チラシのデザインに追加しました。

意見 18: チラシに受付 13:30～と明記したほうが良い。

対応 18: 追記しました。

意見 19: ポスターに大体のタイムスケジュールも記載したほうがいいのではないかな。

対応 19: 事業の流れを記載しました。

意見 20: 事業終了時間が日曜9時になっているので10時に修正。

対応 20: 修正しました。

意見 21: メールアドレスが他の依頼文と違うので修正。

対応 21: 修正しました。

意見 22: 文字がかすれている部分があるので修正。

対応 22: 修正しました。

意見 23: 持ち物が多いので注意が必要。事前に何回もアナウンスするか予備を準備したほうが良い。

対応 23: 事前の周知を行います。

意見 24: 対内アンケートについてこの設問だと全員がはいと回答すると思うが理由を聞かれると書きづらいためもっとシンプルにしても良い。

対応 24: 今後も地域の未来を担う子どもたちの人材育成に主体的に関わりたいですか。へ修正しました。

意見 25: 着替えの枚数や水筒の中身、虫除けスプレー、ビニール袋など他にも必要なものがないか確認。

対応 25: 持ち物リストを作成しました。

意見 26: 対外アンケートの設問2に理由を書く欄があった方が良い。

対応 26: 追記しました。

意見 27: 申込フォームの人数が 90 人になっているので修正。

対応 27: 修正しました。

意見 28: 小学生以下を預かるので、申し込みフォームに保護者の承諾があった方が良い。

対応 28: 保護者の承諾を追記しました。

意見 29: 持病と常用薬の有無を申し込みフォームで確認したほうが良い。

対応 29: 追記しました。

意見 30: 申し込みフォームにて参加決定の連絡時期を記載すること。

対応 30: 記載しました。

意見 31: 申し込みフォームに2日間のスケジュールを大まかに記載したほうが良い。

対応 31: 記載しました。

意見 32: 委員会メンバー以外の集合時間をタイムスケジュールに記載すること。

対応 32: タイムスケジュールに記載しました。

意見 33: タイムスケジュールが事業開始 2:40 と大まかにしか書いてないため細分化すること。

対応 33: 事業の流れという資料を追加しました。

意見 34: 雨天時の場合キャンプファイヤーがなくなるなど色々変更があると思うので、雨天時のスケジュールも記載すること。

対応 34: 雨天時のタイムスケジュールを記載しました。

意見 35: 引換券を作成するのであれば印刷物になるので審議対象資料へ追加すること。

対応 35: 追加しました。

意見 36: 各小学校へのチラシ配布依頼文は作成しないのか。もし出すのであれば御礼文も作成したほうが良い。

対応 36: 御礼文を作成しました。

意見 37: 阿賀野市に対しての文書は吉日などを使用すると却下されるので修正すること。

対応 37: 修正しました。

意見 38: どのようなテントに泊まるのか分かりやすいようにテントと寝袋の参考資料の追加すること。

対応 38: 審議対象資料に追加しました。

意見 39: 待機時間が発生しないよう、チーム別モデルスケジュールを作成し、メンバーに周知したほうが良い。

対応 39: 事業の流れという資料を追加しました。

意見 40: ポスター、チラシの印刷費に関して見積もりと同様に括弧書きでサイズを記載すること。

対応 40: 記載しました。

意見 41: 保険の見積もりが SOMPO になっているが、協和商事に修正。

対応 41: 修正しました。

意見 42: 予算と見積もりで看板の数が違うので修正すること。

対応 42: 修正しました。

意見 43: 宿泊費が減免を受けられるか確認すること。

対応 43: あかたにの家の管轄は教育委員会で、宿泊費の減免を受けるには後援よりも上のレベルの共催までいかないと受けられない。

対応 01:

● 開催日 2026 年 08 月 10 日（月曜日） 審議

対応 01:

● 開催日 2026 年 08 月 25 日 (火曜日) 審議

対応 01:

事業計画・予算

回数	諸会議名	開催日時	議事
● 第 06 回	執行部会	2026 年 06 月 15 日	討議
● 第 07 回	執行部会	2026 年 07 月 14 日	協議
● 第 07 回	理事会	2026 年 07 月 23 日	審議
● 第 08 回	執行部会	2026 年 08 月 10 日	審議
● 第 08 回	理事会	2026 年 08 月 25 日	審議

事業報告・決算

回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
● 第 06 回	執行部会	2026 年 06 月 15 日	討議	● 第 12 回	執行部会	2026 年 12 月 15 日	審議
● 第 07 回	執行部会	2026 年 07 月 14 日	協議	● 第 12 回	理事会	2026 年 12 月 23 日	審議